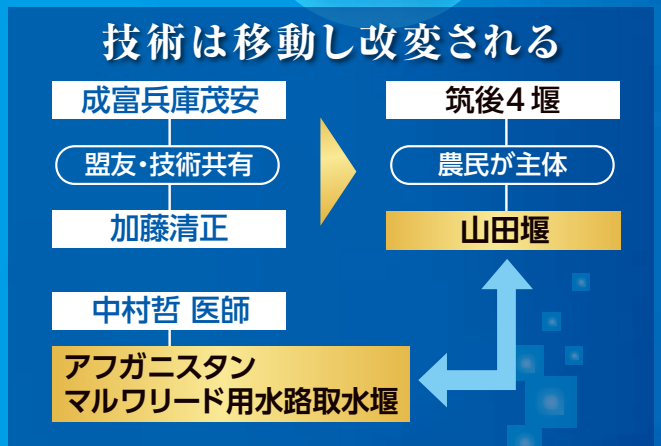


成富兵庫から筑後川、 そして世界へ至る 治水・水資源開発の系譜を探る

加藤清正・成富兵庫茂安の技は筑後4堰を築造した農民集団に引き継がれ、アフガニスタンにおける堰と水路構築では筑後川の山田堰、柳枝工の技術が巧みに取り入れられています。あるところで生まれた技術が移動し、在来知と結びついて変化していく様子を国際的な視点で見てください。



桜の石井樋公園・象の鼻

入場料 無料

日時
平成29年
10/8日
▶ 13:00 ~ 16:30

場所
**佐賀市文化会館
イベントホール**

PROGRAM

- 13:00 開会挨拶
- 13:10 講演1 荒牧 軍治氏(さが水ものがたり館 館長)
「技術は風土の中で生まれ世界をめぐる」
- 講演2 福元 満治氏(ペシャワールの会事務局長)
「アフガニスタンにおける緑の大地計画」
- 講演3 荒牧 英城氏 ((一社)国際建設技術協会技術顧問 元建設省九州地方建設局長)
「開発途上国における技術支援」
(休 憩)
- 15:30 パネルディスカッション
「技術は時代を超えて世界を巡る」
●コーディネーター 荒牧 軍治氏
●パネリスト
福元 満治氏 荒牧 英城氏
平田 昌之氏 (筑後川まるごと博物館)
本間 雄二氏 (NPO法人みなくるSAGA理事)
- 16:30 閉 会

本シンポジウムは、(一社)九州地方計画協会の公益事業支援を受けて開催します。

主催: NPO法人嘉瀬川交流軸 協賛: (一社)九州地方計画協会
後援: 国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所・武雄河川事務所 佐賀県 佐賀市
(一社)北部九州河川利用協会 (一社)佐賀県建設業協会 (一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会